

題	平成26年度 第1回学校協議会
日時	平成26年6月5日(木) 14:00~16:30
出席者	学校協議会会長、地域代表、PTA会長、同総会代表 校長、教頭、事務長、首席(2名)、指導教諭、教務部長、進路部長、1年学年主任 初任者(1名)
欠席者	地域小中学校校長
<p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業視察・校内視察 2 平成25年度学校評価、平成26年度学校経営計画について 3 新入生の様子、進路決定状況の報告 4 情報交換 5 その他 <p>○委員の方々からのご意見・情報交換</p> <p><A 委員></p> <p>BTは何時から始まるのか。家庭学習の時間が少ないのが、心配。部活が終わって家に帰って来るのが21時ごろになる。また、宿題は出しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BTは8:35開始。約10分間。8:50から第1限が始まる。 ・クラブは大会が近づくと遅くまで活動する傾向にある。夏でも19時ごろまでには終わる。それから、片づけを済ませて帰ることになる。冬はもっと早く終わる。練習後にどこかで遊んでいることもあるかもしれない。(そうしないよう指導はしている) ・宿題は出している。 <p><B 委員></p> <p>先生方の職務に対するモチベーションの向上(ストレス発散も含めて)をどのようにして図っているのか。いままで続けてきている仕事を見直さないと、新しい仕事を進めていけないということもあると思う。「捨てる勇気と拾う根気」が大事である。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校現場に対する期待と厳しい目があるが、生徒が喜んでくれる結果が出れば、教員は元気になる。教育活動における仕事をどのように精選していくか。なかなか難しいことであるが、地域の方々の力を借りながら少しでも教員の負担を減らすことができればと思う。 <p><C 委員></p> <p>現在、社会人教室の世話をしているが、いまの若い人はいろいろな情報をもとに、生き方がわかっているのではないかと思うことがある。山高の生徒を見る限り、いつもいいなあと思う。</p> <p><D 委員></p> <p>互いの授業を見学するのはとても良いことだと思う。大学ではめったにそのような機会がない。オーストラリアの高校と姉妹校提携しているということであるが、山田高校にはネイティブの先生はいるのか。</p>	

(事務局)

・NETが配置されている。授業や語学研修で活用している。

<D 委員>

リタイア組は非常に元気である。地域のこうした方々を活用したらどうか。いろいろな意欲が年齢と共に衰えていくが「知りたいという意欲」は最後まで強い。一人の人間としての生涯教育という観点から高校での学習というものをとらえて欲しい。

毎朝のBTのためにプリントを準備するのが大変だと思う。将来的にはiPadなどの利用も考えられる。

<B 委員>

施設・設備のことでいうと、トイレの老朽化を感じる。洋式の数がほとんどなく、スペースも狭小である。なんとかならないか。

(事務局)

・トイレの改修は府の事業であり、同窓会や後援会から援助してもらえない対象ではない。府立校で年間4校程度改修が進められている。

<A 委員>

自分で調べ、自分で考え、自分でわかるということは、本来、楽しみのはずである。高校時代に、教科の学習をはじめ、将来の自分の生き方・あり方を考え、大学進学について、自分で選択できるような力をつけて欲しい。

<B 委員>

自分が高校生のときには「なるにはボックス」というのがあった。世の中を「知る」「考える」のに役立った覚えがある。

<D 委員>

自分の子どもが通っていた高校は、1年次に文理の選択があった。こんなに早く決めさせて、これではよかったのかなと思っている。

(事務局)

本校は、1年次は全員同じ科目を履修し、2年次より文理選択になる。

<B 委員>

自分が中学生のころは、高校といえば普通科か職業科の2種類で、先生にすすめられたところを受験するというのが一般だった。しかし、今はいろんな種類の高校があり普通科の「普通」というのはいったい何なのかと悩むことがある。高校選びも多様であり、難しさを感じる。